待望の会館建設を決議

第八回商工会通常総会

横越村商工会第八回通常総会が、五月二十五日公民館で開催されました。

総会の主要議案は、商工会館の建設決議案のほか、昭和五十六年度事業・収支決算、昭和五十七年度事業計画・収支予算などで、何れも原案どおり満場一致可決されました。

今回決議された会館建設は商工会の象徴であり会員が待望していたもので、昨年会館建設委員会を発足。先進地視察や審議を重ねた結果、会員の理解協力が稔ってこれが具体化されたものです。

この計画概要は、昭和五十九年度中を目標に場所は、役場新庁舎建設予定地とし、鉄骨二階建延三百九十六平方㍍を建設するもので、会館内部は、一階事務室、資料室、指導室、研修室。二階第一、第二研修室などとなっています。

敷地（六六〇㎡）は、村からの借地とし建設費は、五千六百万円が見込まれ、財源は県補助金及び村補助金各二千万円、会員負担金千六百万円が予定されています。

当日、来賓で出席した渋谷村長は、「村も将来を展望しながら昭和五十八年度を目途に庁舎建設の準備を進めているが、商工会館建設にはできるだけ協力して行きたい」とあいさつしました。

商工会館の建設が決議された総会

深刻な老齢化社会

シリーズ No.1

ふえる老齢人口

いま、日本の人口動態は、こどもの出生が減り、お年寄りが増えています。そして平均寿命が年々伸びてきており、いわゆる「高齢化社会」が急速に進行しています。

お年寄りの長寿それ自体は喜ぶべきことですが、「高齢化」は、中高年齢層の生活に深刻な打撃を与えることになります。

そこで、高齢者をとりまく諸問題をさぐり、高齢化社会にどう対処していくか考えてみたいと思います。

60年には総人口の14%に

昭和五十五年国勢調査によると、横越村の人口は、八、五八六人となり三十年ぶりに増加しました。

ところで、六十五才以上の高齢者人口は、一〇三四人で総人口の一二・一%をしめ、二十年前より一・六倍も増加しています。

ことに昭和四十五年から急増のカーブを描き昭和六十年には、総人口の一四・二%をしめることが予想されます。（表1）

一方、十四才以下の子どもの人口（表2）は、数の上で増加しつつありますが、人口比率からみると、年々減少してきています。

これらのことから横越村も「高齢化社会」が進行していることがわかります。

厚生省の人口推計では、今後三十年間は、こうした傾向が続き、二十一世紀の二十年代頃には、高齢者の人口の比率は、一八%台になると見込まれています。

さて、このような人口動態からお年寄りをとりまく諸問題を二、三あげてみますと、

今日の企業の雇用人員構成は、若い人が比較的少なく、「中ぶくれ型」で、このままでは「逆ピラミット」ということにもなりかねない状態。

当然企業では、健全な経営をはかるために中高年齢者に〝肩たたき〟が強まってくることが考えられ、中高齢者の雇用は、今後深刻な問題となってきます。

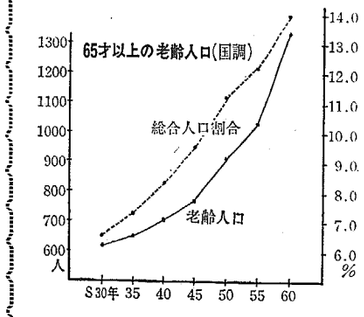
高齢者の社会保障として脚光を浴びてきた年金、医療は臨時行政調査会で問題にされているように、増え続ける高齢者人口と不況、財政難などで次第にその保障水準の低下が予想され、生活基盤の弱いお年寄りには大打撃となってきます。

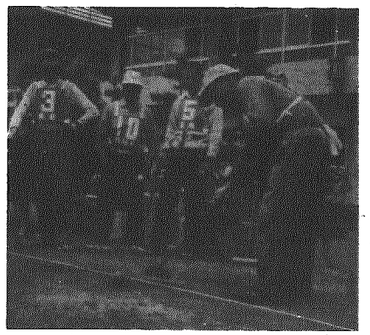
国勢調査でもあきらかのように、年々核家族世帯の増加に比例して、一人世帯も増加しています。

このことは、家庭の崩壊はもとより、お年寄りの孤独、青少年の非行にもつながり、社会的危機となりかねない状態にあります。

このように、高齢化社会の進行は、行政はもとより企業、家庭そして高齢者にとっては大きな課題となっています。

（表1.）





ゲートボールもお年寄りにとって大切なコミュニーケーションの場

（表2.）

14才以下の子ども人口

S30年	3,528人	37.3%
35	3,133	34.9
40	2,425	28.8
45	1,900	23.3
50	1,742	21.5
55	1,926	22.4

◎水道週間

（6月1日～6月7日）

◎阿賀野川浄水場一般公開

六月六日(日)午前9時～午後4時

（見学をお待ちしています。来場の方に鉛筆をプレゼントします。）

生きがいを求めて

多彩な学習に

……高齢者大学開校……

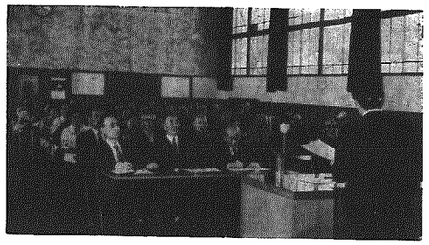
お年寄りの方から心豊かに明るく生きがいをもって暮らしてもらおうと、開設して十二年目の高齢者大学の開校式が四月二十八日公民館で行われました。

大学入校は、六十五才以上とされ、今年度は九十七名の生徒が入学しました。村全体の対象者からみて約九・三%の入学率です。

開校式には、スクールバスが仕立てられ村内各地から八十七名が出席、来賓の渋谷村長、浅見議会議長らから激励の言葉を受け、一年のスタートを切りました。

これよりさき、この開校式の記念講演会が午前中にもたれ、「地域活動とこれからの高齢者学習」と題し、花積正夫氏（元コロニーにいがた白岩の里所長）から、「家庭や社会に必要とされる老人にならねば」など、これからの老人意識を、ユーモアと方言を混いての楽しい話しを学びました。

なお、大学の今年の主な学習内容は、視察研修旅行、他団体との交流会健康教室時事講演などを予定しており高齢化社会に適応できる生活態度や日常生活のあり方などを学んでいくとしています。



家庭や社会に必要な老人に…記念講演会

ゆとりある車間距離を

梅雨どきの交通事故防止

六月は雨の日が多く、ジメジメした高温多湿の季節のため、毎年この時期は交通事故が大変多く発生しています。

ドライバーは気分がイライラし、ついスピードを出し過ぎ、歩行者は傘をさして視界が悪いにもかかわらず、無理な横断等をしがちです。こんなことが交通事故多発の原因にもなっています。

ところで、雨で濡れた舗装道路では、自動車の制動距離が大変長くなるのをご存じでしょうか。乾いた道路での必要な車間距離は、時速40㌔で40㍍、50㌔で50㍍、60㌔では60㍍といわれていますが、濡れた道路ではとてもこれでは足りません。特に雨の降り始めの時は滑りやすく、したがって、車間距離もふだんの二倍はとるように心がけましょう。

また、傘をさして自転車に乗ることは非常に危険なことです。絶対にやめましょう。

いずれにしても、雨の日は運転者も歩行者も、特別の注意を払って交通事故防止に努めましょう。

公園はみんなの広場

かわいがってね

村では昨年度二本木、藤駒地区に公園を設置しました。今後も各地区に公園が計画されています。

公園は私達の大切な屋外におけるレクリェーションの場として生活のうるおいを多く与えてくれる貴重な広場です。

よちよち歩きの子供から、お年寄りまで、そこには地域のコミュニケーションの場として、わたしたちの生活に欠くことのできない大切な広場でもあります。

公園には、水飲み場便所、遊具、ベンチなどの施設と日影や風景を作ってくれる樹木が植えられておりますので、これらの利用は次に使う人のために、使う前よりきれいにしておくようみんなで心がけてほしいものです。

そして地域で話し合い、掃除や樹木の手入れなどをすることも地域の環境をよくすることにもつながります。

公園で元気で遊ぶ子供達

有線電話 新設・廃止のお知らせ

◇新設（番号変更含）

横越	坂井 武雄（牛舎）	4430
〃	宗賢寺	4399
〃	佐藤松四郎	4410
藤駒	藤駒野菜集出荷場	5570
二本木	遠藤 孝春	5218
〃	原田 昭治	5258
木津	大森ミサオ	4276
〃	農協木津倉庫	4970
小杉	遠藤 秀雄	5409
〃	小杉生活センター	5400

◇名称変更

横越	横越上集会所→横越上公会堂
小杉	青木一男→青木商店

◇廃止

沢海	小林 承世	4781
〃	北方文化博物館	4671
二本木	仲村建設	5284
〃	鷲尾 孝	5272
小杉	大竹ミヨ子	5418

児童手当 現況届をお忘れなく

すべての受給者の方は、毎年六月一日から同月三十日までの間に児童手当現況届を市町村に提出してください。

もし、この届出を提出しないと、引き続いて受給資格があっても、六月分以後の児童手当の支払を受けることはできなくなりますので、必ず提出してください。なお、村では引続き児童手当が受給される方には、直接児童手当現況届を送付しましたので六月八日まで提出してください。